

## 基本目標4

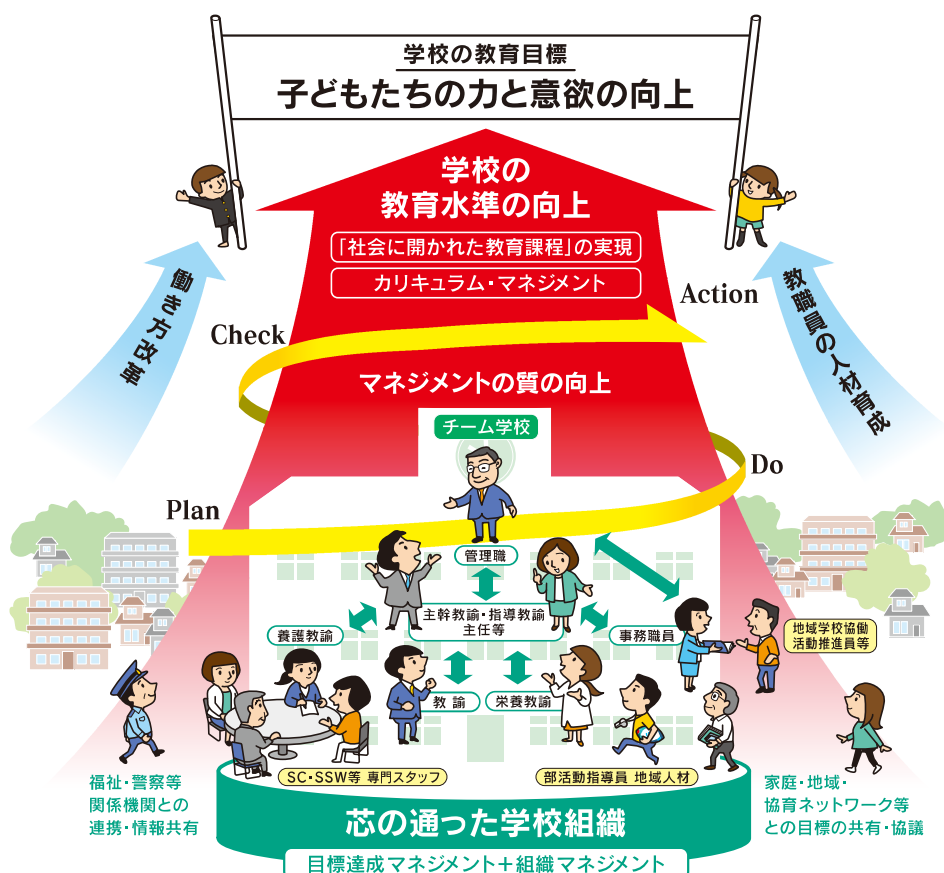
## 信頼される学校づくりの推進

## 1 「芯の通った学校組織」の取組の深化

学校教育  
基本目標1-4社会教育  
基本目標5文化財・伝統文化  
基本目標6スポーツ  
基本目標7-8

## ■現状と課題

- ベテラン教職員の多くが定年退職を迎え、若手教職員の育成や学校における働き方改革が課題となる中、複雑化・困難化する様々な教育課題を解決するため、校長のリーダーシップの下、全ての教職員が目標達成に向けて組織的に教育活動に取り組む「芯の通った学校組織」を、学校運営の基本として引き続き徹底・強化していくことが求められます。
- 「芯の通った学校組織」づくりにあたって必要な学校マネジメントのツールを活用し、学力・体力の向上やいじめ・不登校対策など、各学校が抱える教育課題の解決・目標達成に向けて、心理や福祉など専門性を有する人材や関係機関と連携した「チーム学校」による組織的な取組を深化することが求められます。
- 学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有し、三者による連携・協働の下、目標達成に向けて組織的な取組を行う学校運営が求められています。
- 少子高齢化や人口減少に伴い地域社会が変容する中、社会総掛かりで子どもたちを育む地域とともにある学校づくりが求められています。



## ■主な取組

## ①学校マネジメントに係る取組の徹底・強化

複雑化・困難化する様々な教育課題に対応するため、学校運営の基本となる「芯の通った学校組織」に係る取組の徹底・強化を図ります。

### <目標達成マネジメント>

- ・育成を目指す資質・能力を踏まえた喫緊の教育課題に即した重点目標設定や検証可能で具体的な取組設定の徹底
- ・取組の発展と目標の向上に向けた年度を跨いだ検証・改善サイクルの徹底
- ・目標の全教職員での共有化や教職員評価システムとの連動の徹底

### <組織マネジメント>

- ・目標達成に向けた主任の業務・役割の明確化など、主任制度の活性化
- ・主幹教諭・指導教諭の配置と活用を通じた組織体制の強化
- ・運営委員会の活用推進などによる学校の企画・立案機能の強化
- ・職員会議の役割の明確化の徹底

## ②教育課題の解決に向けた組織的な取組の深化

学力・体力の向上、生徒指導など各学校における教育課題の解決のため、縦と横の関係を意識した「芯の通った学校組織」の取組の深化を図ります。

- ・P D C Aサイクルを取り入れた組織的な授業改善の推進
- ・不登校対策をはじめとした学校全体での組織的な生徒指導の推進
- ・学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有し、三者連携の下、それぞれの取組を進める目標協働達成の推進
- ・学校段階を跨いだ一貫した学びの充実を図るための、小・中学校間、中・高等学校間等の連携推進
- ・分野横断的な教育課題の解決に向けた、心理や福祉等の専門性を有する人材の活用や福祉・警察等関係機関との連携強化

## ③地域とともにある学校づくりの推進

将来の地域を担う子どもを社会全体で育むため、子どもに地域の大人が積極的に関わり、地域の教育力を結集した地域とともにある学校づくりを推進します。

- ・学校・家庭・地域が目標・ビジョンの達成に向けて協働するコミュニティ・スクール<sup>※34</sup>の普及推進
- ・「協育」ネットワークを活用した放課後や土曜日等の体験活動や学習支援等の地域学校協働活動の推進
- ・授業支援や登下校の見守り、地域人材の活用など、学校と地域のコーディネート機能の充実
- ・「おおいた教育の日<sup>※35</sup>」の取組などを通じた、学校・家庭・地域が一体となった取組の推進



地域の参画・協働による体験活動

## ■目標指標

指標名	基準値		実績値 (H30)	目標値 (R6)
	年度			
学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率 (小・中学校)	H25	14.9%	87.2% (H29)	100% (R5)
コミュニティ・スクールを導入した学校の割合 (小・中学校)	H26	6.7%	50.7%	100%
小学生チャレンジ教室等の活動に参加する児童数	H26	0.8万人	1.13万人	1.2万人

※34 コミュニティ・スクール…地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6の規定により、保護者や地域住民等から構成される学校運営協議会を設置し、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営の基本方針を承認したり、学校運営について意見を述べたりできる仕組みを持つ学校のこと。

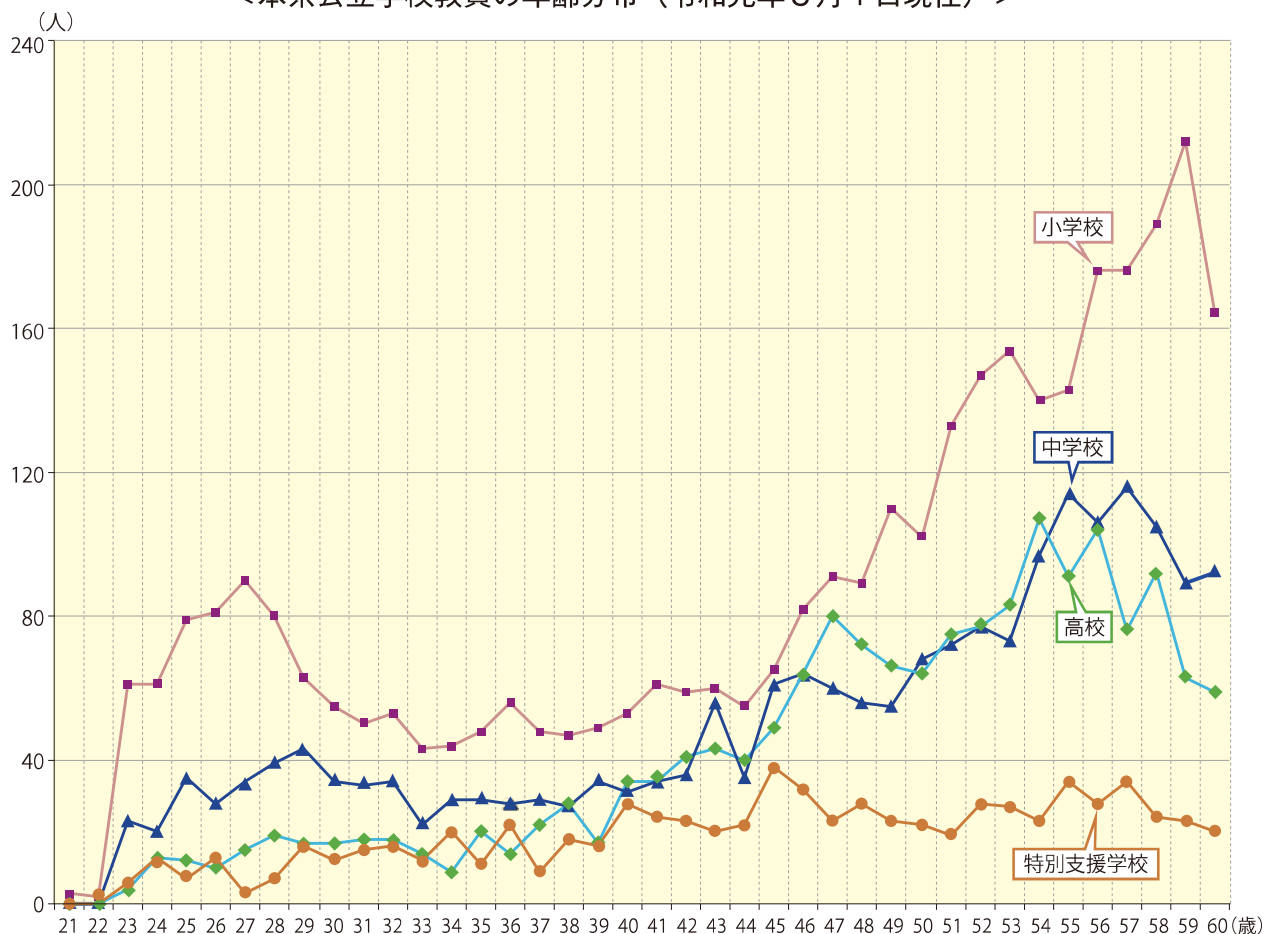
※35 おおいた教育の日…県民が一体となって、明日の大分を担う心豊かでたくましい子どもたちの育成等を図るため、「おおいた教育の日条例」により、11月1日を「おおいた教育の日」と定め、その前後の期間に県内全域で様々な取組を行っている。

## 2 教職員の意識改革と資質能力の向上

### ■現状と課題

- 教職員の大量退職・大量採用時代を迎える中、本県の教育課題に対応できる人材の確保とともに、ベテラン教職員の持つノウハウの継承を図るなど若手・中堅教職員の計画的な育成が求められています。
- 「芯の通った学校組織」の取組の深化を図る上で、管理職、主要主任等のミドルリーダーの養成とともに、学校教育課題への組織的な対応に向けた全教職員の意識の徹底が求められます。
- 教師の長時間勤務が全国的な課題となる中、子どもと向き合う時間を確保するための学校における働き方改革の推進が必要です。
- 精神疾患で病気休職になる教職員は平成21年度をピークとして減少傾向にあり、在職者比も全国平均を下回るようになりましたが、平成30年度に微増しています。また、教職員定期健康診断の結果によれば有所見率が高く、中でも生活習慣病予備軍が多く見られるため、特に若年層の生活習慣の改善が必要です。
- 子どもの模範となるべき教職員が飲酒運転やセクハラ、体罰などの不祥事を起こすことは絶対に許されないことであり、これらを根絶する必要があります。

＜本県公立学校教員の年齢分布（令和元年5月1日現在）＞



※1 令和元年5月1日現在在職者の令和元年度年齢（R2.4.1時点の年齢）による年齢別人数分布  
 ※2 対象は、校長・副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭（充て指導主事も含む）

## ■主な取組

### ①「教育県大分」を担う人材の確保・養成

子どもたちに未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育を着実に推進するため、「教育県大分」を担う人材の確保・養成を図ります。

- 求められる教職員像を踏まえた採用選考試験の実施・改善
- 「大分県教育庁チャンネル<sup>※36</sup>」や県内外の教員養成機関等を通じた、教員志望者等への大分県教育に関する情報発信の強化
- 多様な視点を取り入れた教員採用選考試験の実施による人材確保の推進
- 学校マネジメント能力を有し、学校改革に取り組む意欲に富んだ管理職の養成
- 管理職等の養成や教員免許取得・更新等における県内大学等との連携強化

#### <求められる教職員像>

求められる教職員像	着眼点	具体的内容
専門的知識をもち、実践的指導力のある人	専門性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教科等に関する専門的知識</li> <li>• 学習指導や生徒指導等に関する実践的指導力 等</li> </ul>
使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性をもつ人	人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 強い責任感や思いやりの心</li> <li>• 教育公務員としてのより高度な規範意識</li> <li>• 円滑に教育活動を進めることができる対人関係能力 等</li> </ul>
柔軟性と創造力をそなえ、未知の課題に立ち向かう人	社会性 創造性 たくましさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 広い視野、柔軟な発想、企画力</li> <li>• 困難なときにこそ常に創造力を発揮し、新しい課題に果敢に取り組む姿勢 等</li> </ul>
学校組織の一員として考え行動する人	組織人と しての自覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校組織の一員として考え行動する姿勢</li> <li>• 校長のリーダーシップのもと、教育課題の解決に組織として取り組む姿勢 等</li> </ul>

### ②資質能力の向上と適材適所の配置

教職員が意欲を持って業務を遂行でき、全県的な教育水準の維持向上にも資するよう、資質能力の向上と適材適所の配置を推進します。

#### <資質能力の向上>

- 教職員のキャリアステージに応じた計画的・体系的な研修（OJT、Off-JT）の充実
- 「芯の通った学校組織」の取組を下支えする学校マネジメント研修の充実
- 「教育県大分」の創造に向けた教育研究団体等の活用
- 人事評価の人事・給与への適切な反映など教職員評価システム<sup>※37</sup>の効果的運用を通じた人材育成の推進



若手教員に対する研修

#### <適材適所の配置>

- 教職員の資質能力向上と全県的な教育水準の維持向上に資する、広域人事異動の推進
- 小・中・高・特別支援学校の校種間連携のための人事交流の推進
- 学校マネジメントの中核を担う主幹教諭、指導教諭の配置と活用
- 学級担任への正規教員の配置促進

※36 大分県教育庁チャンネル…学校現場で頑張っている教職員の姿、児童生徒の活動、地域との連携による学校支援の様子など、先進的な取組や特色ある取組などを紹介するため、県教育委員会が動画投稿サイトをYouTubeに開設した専用チャンネル。

※37 教職員評価システム…教職員の能力開発・資質向上と学校組織の活性化を目指すシステムのこと。校長等が学校の重点目標等から教職員が設定した自己目標の達成状況を評価する「目標管理」と、校長等が教職員の能力、姿勢・意欲、実績を相対的に評価する「能力評価」の2つの柱で構成される。

### ③学校における働き方改革の推進

教職員が各自の役割に応じて持てる資質能力を十分に発揮し、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、校務環境の整備や業務改善の推進を図ります。

#### <校務環境の整備>

- ・「学校現場の負担軽減のためのプロジェクトチーム」による負担軽減策の検討
- ・学校現場との意見交換会での意見や好事例等を踏まえた「学校現場の負担軽減ハンドブック」の改訂及び全教職員への周知
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の専門スタッフやスクール・サポート・スタッフ<sup>※38</sup>等の活用
- ・「特定事業主行動計画」に基づく育児支援のための教員配置等の検討
- ・学校支援センターによる学校運営支援機能の強化
- ・サービス・給与等の事務処理システム（総務事務システム）の運用や生徒情報等を管理する校務支援システムの充実
- ・校務用パソコンや複合機等、校務処理に必要なICT機器の計画的な整備
- ・集合研修に出向く教職員の負担軽減のため、研修の精査とICTを活用したWeb研修等の導入

#### <業務改善の推進>

- ・教職員の勤務時間管理の適正化
- ・勤務時間の客観的な把握と適正な設定を通じた教職員一人一人の働き方に関する意識改革の促進
- ・「大分県の運動部活動の在り方に関する方針」（平成30年8月）及び「大分県の文化部活動の在り方に関する方針」（平成31年2月）に基づく部活動改革の推進
- ・ICTを活用した業務効率化の推進

### ④健康の保持・増進

教職員が教育活動に専念し、持てる資質能力を十分に発揮できるよう、教職員の心身の健康の保持・増進を図ります。

- ・「こころのコンシェルジュ<sup>※39</sup>」による学校訪問など、メンタルダウンの未然防止、早期対応、職場復帰と再発予防の推進
- ・生活習慣病の予防に向けた教職員への健康支援の充実

### ⑤サービス規律の徹底

子どもの模範となるべき教職員の不祥事を根絶するため、サービス規律の徹底を図ります。

- ・サービス研修テキスト等を活用した研修の充実
- ・高い倫理観と厳しい自律心を持つ教職員の養成

## 目標指標

指標名	基準値		実績値 (H30)	目標値 (R6)
	年度			
教職員研修に占めるWeb研修の割合	H30	0%	0%	30%
若年層（40歳未満）の定期健康診断有所見率	H26	70.5%	64.1%	60%

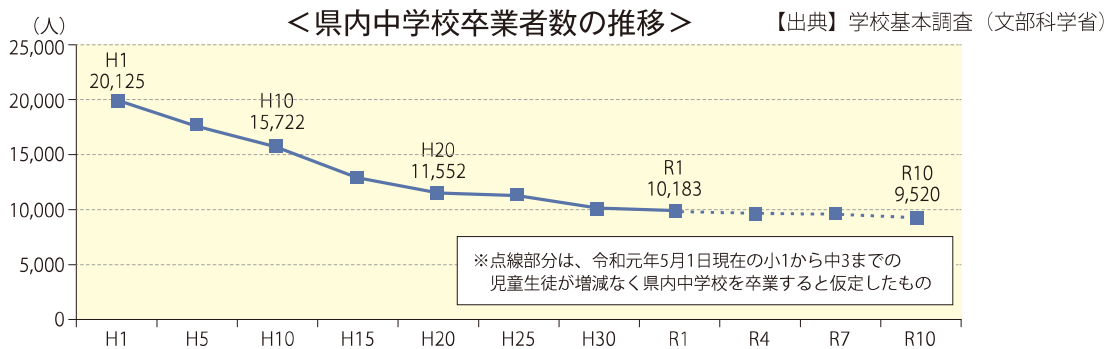
※38 スクール・サポート・スタッフ…教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、教員の負担軽減が図られるよう、学習プリント等の印刷などを教員に代って行うサポートスタッフのこと。

※39 こころのコンシェルジュ…教職員が抱える心の問題を早期に発見・解決するため、学校を巡回し教職員と面談する相談員のこと。

### 3 魅力ある高等学校づくりの推進

#### ■現状と課題

- グローバル化の進展、少子化による生徒数の減少など、高等学校教育を取り巻く環境が大きく変化する中、新しい時代に相応しい魅力ある高等学校づくりが求められています。
- 生徒が未来に夢や目標を持ち、自らの人生や新しい社会を切り拓く力を身に付けることができるよう、進学・就職を見据えた高等学校教育の質の確保・向上が求められています。
- 地域に信頼され、選ばれる学校となるため、地域のニーズを踏まえた特色ある高等学校づくりを推進する必要があります。
- 地方創生が大きな課題となる中、専門高校には、各分野における専門人材の育成を通じて地域産業の活性化に貢献する役割が、これまで以上に求められています。
- 経済的な理由により高等学校への修学が困難な生徒に対し、教育費の負担を軽減し、教育の機会均等を図ることが求められています。



#### ■主な取組

##### ①高等学校教育の質の確保・向上

生徒が主体的に学び、自身の未来を切り拓いていくことができるよう、進学・就職を見据えた高等学校教育の質の確保・向上を図ります。

##### ＜共通＞

- 校長のリーダーシップの下、魅力ある高等学校づくりに向けた組織的な取組の推進
- 主体的・対話的で深い学びを重視した指導の充実など、高大接続改革を見据えた授業改善の推進
- 「高校生のための学びの基礎診断」を検証指標とした「授業改善スクールプラン」、「授業改善マイプラン」の活用促進
- スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定校の成果の継承
- スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）指定校等の先進的な取組の波及
- 第三者評価<sup>※40</sup>を含む学校評価を通じた学校運営の継続的改善

##### ＜専門教育＞

- 多様な学習ニーズや進路希望に応える専門教育の充実
- 商工労働・農林水産部局や地域の関係機関等との連携強化
- 専門的な知識・技術・技能の習得・向上に向け、他県との連携を含めた実習設備等の整備

※40 第三者評価…学校とその設置者が実施者となり、学校運営に関する外部の専門家を中心とした評価者により、教育活動その他の学校運営の状況について、専門的視点から評価を行うもの。

### ②特色ある高等学校づくりの推進

地域に信頼され、選ばれる学校となるため、地域のニーズを踏まえ、地域の活力ともなる特色ある高等学校づくりを推進します。

- ・コミュニティ・スクールの導入など地域と協働した学校の活性化
- ・市町村立中学校と連携した教育活動の充実など地域に根ざした特色化の推進
- ・地域産業界と連携した専門教育の充実など、地域を担う人材育成の推進
- ・地方創生にも資する地域の高等学校の在り方の検討

#### <令和元年度 地域の高校魅力化・特色化推進事業 取組事例>

学校名	令和元年度 取組内容
高田高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「L.B.D-Labo」など、温泉施設を訪問する外国旅行者に英語でのおもてなし観光案内</li> <li>・中高連携で英語力強化、高校生に加え、市内中学生及び保護者対象の「高校生のための未来塾講演会」</li> </ul>
由布高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語・中国語・韓国語の語学力を備え、由布市の公認を目指した「由布マイスター」の養成</li> <li>・由布市「仕事図鑑」作成発信で移住促進、企業との連携による庄内神楽PRで販売する扇子の商品開発</li> </ul>
久住高原農業高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内先進農家アグリ研修、農業系大学など上級学校へ体験・見学による進路意識向上</li> <li>・地域の方からの獅子舞指導による郷土芸能の継承プロジェクト</li> </ul>
竹田高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹奏楽「竹田市音楽の街合同音楽クリニック」開催などによる学校の魅力PR</li> <li>・3年間を見通した総学での進路実現、地域インタビュー等による地域課題解決のフィールドワーク</li> </ul>
宇佐高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高ジョイント授業や夏季休業中の「中高合同学習会」による中高連携の強化</li> <li>・宇佐市観光協会やESSの連携によるインバウンドナビゲーター活動と英語コミュニケーション力の向上</li> </ul>
佐伯豊南高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業と連携した本校生徒、小・中学生、一般を対象とした商品開発</li> <li>・4学科合同学修成果発表会の実施による実践的創生プランを小・中学生や地域にPR</li> </ul>
日田三隈高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人NINAUとコラボして地域人材を活用した専門的授業</li> <li>・「三隈マーケット」による高校生目線の商品選択、販売活動や小・中学生、高齢者対象の地域コミュニティーショップ</li> </ul>
日田林工高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生を対象としたプログラミングやドローンなどの体験学習や出前授業によるAI人材の育成</li> <li>・千年あかりなど専門技術を活用した地元貢献による地域人材の育成</li> </ul>

### ③修学支援の充実

全ての意志ある生徒が安心して教育を受けることができるよう、経済的理由によって修学が困難な高校生に対する修学支援を充実します。

- ・高等学校等就学支援金の支給による授業料負担の軽減
- ・低所得世帯への高校生等奨学給付金（奨学のための給付金）の給付による授業料以外の教育費負担の軽減
- ・優秀な生徒等で経済的理由により修学が困難な者に対する奨学金の貸与
- ・高等学校定時制・通信制課程への修学を促進するための「高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金」の貸与

### ■目標指標

指標名	基準値		実績値 (H30)	目標値 (R6)
	年度			
授業の内容を理解できていると感じている生徒の割合（高2） 【再掲】	H27	71.5%	72.3%	80%
学習の疑問点を自ら解決しようとしている生徒の割合（高2） 【再掲】	H27	59.6%	69.0%	80%

学校教育 基本目標1-4  
社会教育 基本目標5  
文化財・伝統文化 基本目標6  
スポーツ 基本目標7-8